

## 医学系研究に関する情報公開

福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センターでは、本学倫理委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2020年9月 福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター 神谷研二

【研究課題名】「『県民健康調査』の一環としての福島県居住小児に対する甲状腺検査」のデータを利用した観察研究

【研究期間】2011年10月～2023年3月

## 【研究の意義・目的】

東京電力福島第一原子力発電所事故による放射線の健康影響については、現時点での予想される外部及び内部被ばく線量を考慮すると極めて少ないと考えられます。しかしながら、チェルノブイリ原子力発電所事故で唯一明らかにされたのが、放射性ヨウ素の内部被ばくによる小児の甲状腺がんの増加であったことから、甲状腺の長期健康管理に関しては、多くの県民の関心の一つとなっています。

そのため、福島県は福島県県民健康調査を行い、その詳細調査の一つとして、事故時18歳以下の福島県に居住していた住民に対し、甲状腺の状態を把握し、健康を長期的に見守ることを目的に甲状腺検査を実施することとなりました。本研究においては、甲状腺検査により得られた検査結果等のデータを利用して分析を行う観察研究を行い、原子力発電所事故に関連する健康影響を調査・研究することを目的に実施いたします。

## 【研究の対象となる方】

甲状腺検査の対象者は震災時18歳以下の全福島県民としており、また、2014年度から開始される本格検査からは、震災の翌年度に出生した福島県民を含むこととしております。本研究の対象になる方は上記甲状腺検査対象者のうち、調査・研究への参加に不同意の意向を表明していない甲状腺検査参加者を対象といたします。

## 【研究の方法】

甲状腺検査により得られた以下のデータを用います。

一次検査結果：受診された皆様の情報、書いて頂いた問診票の記入内容、超音波検査結果や超音波画像データ

二次検査結果：受診された皆様の情報、書いて頂いた問診票の記入内容、超音波検査結果や超音波画像データ、二次検査後に紹介した臨床科から提供される臨床データ

これらのデータを利用して、結節性甲状腺病変およびその他の甲状腺に関する所見および各検査の受診有無状況等について、分析を行います。また、県民健康調査「基本調査」に御参加された皆様においては、それによって得られた結果を合わせて解析します。

## 【研究組織】

	(所属)	(職)	(氏名)
研究責任者	福島県立医科大学	副学長	神谷研二
研究分担者			
	臨床検査医学講座	教授	志村 浩己
	福島県立医科大学	副学長	山下 俊一
	放射線医学県民健康管理センター	総括副センター長	大戸 斉
	放射線医学県民健康管理センター	教授	鈴木 悟
	甲状腺内分泌学講座	教授	鈴木 眞一

公衆衛生学講座	教授	安村 誠司
甲状腺・内分泌センター	センター長	横谷 進
小児科学講座	教授	細矢 光亮
放射線生命科学講座	教授	坂井 晃
疫学講座	教授	大平 哲也
放射線物理化学講座	教授	石川 徹夫
糖尿病内分泌代謝内科学講座	教授	島袋 充生
耳鼻咽喉科学講座	教授	室野 重之
放射線医学県民健康管理センター	講師	鈴木 聡
甲状腺内分泌学講座	博士研究員	岩館 学
災害こころの医学講座	准教授	瀬藤 乃理子
小児科学講座	准教授	佐野 秀樹
病理病態診断学講座	教授	橋本 優子
病理病態診断学講座	准教授	鈴木 理
放射線健康管理学講座	教授	坪倉 正治
放射線医学県民健康管理センター	教授	ノレット・ケネス
臨床検査医学講座	博士研究員	伊藤 祐子
放射線医学県民健康管理センター	助教	長尾 匡則
放射線医学県民健康管理センター	助教	林 史和
放射線医学県民健康管理センター	主任医療技師	逸見 正彦
放射線医学県民健康管理センター	主任医療技師	黒須 由美子
放射線医学県民健康管理センター	副主任医療技師	佐藤 綾子
放射線医学県民健康管理センター	主任医療技師	山谷 幸恵
保健科学部臨床検査学科	助教	堀越 裕子
放射線医学県民健康管理センター	副主任医療技師	長嶺 夏希
放射線医学県民健康管理センター	医療技師	西山 翔子
放射線医学県民健康管理センター	医療技師	坂上 敏江
放射線医学県民健康管理センター	専門員	高橋 智里
保健科学部臨床検査学科	医療技師	鈴木 英明
放射線医学県民健康管理センター	主任看護技師	佐藤 優子
放射線医学県民健康管理センター	副主任看護技師	関野 瑞希
放射線医学県民健康管理センター	看護技師	行形 裕子
放射線医学県民健康管理センター	看護技師	吉田 房江
放射線医学県民健康管理センター	医療技師	浅野 眞比呂
放射線医学県民健康管理センター	医療技師	江尻 遥香
放射線医学県民健康管理センター	医療技師	中畑 那奈
朝日大学	教授	松塚 崇
東北大学大学院	教授	中谷 友樹
国立保健医療科学院	統括研究官	高橋 秀人
東京医科歯科大学	教授	高橋 邦彦
大阪大学大学院	教授	祖父江 友孝
大森赤十字病院	顧問	坂本 穆彦
国立病院機構長崎医療センター	臨床検査科医師	伊東 正博
仙台赤十字病院	嘱託医師	長沼 廣
医療法人神甲会 隈病院	病理診断科科长	廣川 満良

【本研究に関する問い合わせ先】

本研究に関する御質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1  
公立大学法人福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター

担当：甲状腺検査部門  
電話：024-549-5130  
E-mail：kenkan@fmu.ac.jp

**【試料・情報の利用を望まれない場合の連絡先】**

試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者ご本人又は代理人の方に御了承いただけない場合には、研究対象者とはせずに試料・情報の利用をいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人又は代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、すでに研究への利用に同意しないことを申し出られている方は、連絡いただく必要はありません。また、研究結果が既に医学系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取り消すことは困難な場合もあります。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1  
公立大学法人福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター  
電話：024-549-5130  
E-mail：kenkan@fmu.ac.jp

